

平成27年 第13回別海町教育委員会 会議録

- 1 開催日時 平成27年12月16日(水) 午前10時00分から午前10時30分
- 2 開催場所 別海町役場 町議会第2委員会室
- 3 出席委員 (3名)
教育委員長 大塚保男
教育委員長職務代理者 木村江里
教育長 真籠毅
- 4 欠席委員 (2名)
教育委員 伊勢浩子
教育委員 上田茂
- 5 出席職員 (10名)
教育部長 中谷隆弘
教育部次長 下地哲
指導参事 古森康晴
学務課長 佐々木栄典
学務課主幹 松田勝広
学務課主査 小野勝彦
生涯学習課主幹 竹中利哉
西公民館館長 石川誠
東公民館館長 内山宏
図書館長 千葉宏
- 6 議事日程 選挙第1号 教育委員長の選挙について

－【開 会】－

大塚委員長

ただ今から、平成27年第13回の別海町教育委員会会議を開会いたします。

本日の出席委員は、3名です。別海町教育委員会会議規則第5条の定足数に達していますので、会議は成立いたします。

それでは開会にあたりまして、私から一言ご挨拶を申し上げます。

大塚委員長

2015年もういよいよ残すところ後2週間となりました。

今年最後の会議になります。

年度では、まだ3か月ありますが、この1年間、職員の皆様には、教育行政の円滑な執行にご尽力いただき誠にありがとうございました。

おかげさまで、各学校におかれましては、長かった2学期が大きな事故もなく、学習活動や文化・スポーツ活動に大きな成果を上げることができ、無事冬休みを迎えることは大変うれしく思っております。

また、公民館や各種施設を活用した社会教育の推進や芸術文化活動は、住民が主体的に学び合い、その成果を相互に発表し合える場として生きがいや豊かな地域づくりに結びついたものと思います。

改めて感謝を申し上げますとともに、来年度からの新たに学校区の編成や町立認定こども園について、本町のために、学校現場や保護者との連携をとって進めていただきますよう、お願い申し上げまして挨拶とします。よろしくお願いいたします。

－【前回会議録の承認】－

大塚委員長

それでは日程第2、会議録の承認に入ります。

第11回及び第12回の会議録について、事前に各委員さんに事務局から送付しておりますので、訂正・ご意見等がありましたら発言をお願い致します。

いかがでしょうか。

(「なし」声あり)

大塚委員長

無いということですので、第11回及び第12回の会議録については承認することとしてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

大塚委員長

会議録について、承認することといたします。

－【報 告】－

大塚委員長

それでは、日程第3、報告に入ります。

真籠教育長から報告事項をお願いいたします。

真籠教育長

11月12日に開催されました、第11回の教育委員会議以降から本日まででの行事や実施事業等について報告します。

まず、13日午前9時30分から、地域とともにある学校づくりの推進に向けた制度等活用説明会が中標津町で開催され、本町からも学校長・教頭・教委職員が多数出席し、コミュニティスクールの推進に向けて学習しています。

同日午前10時30分から、平成26年度別海町決算特別委員会の総括質疑が開催され、教育長・教育部長が出席しております。

同日午後１時３０分から、道立教育研究所の秋里泰紀研修主事をお招きして、平成２７年度別海町保幼小中高生徒指導連絡協議会において講師派遣型連携セミナーが実施されています。

翌１４日午前９時から、競技力向上セミナーが開催され、今回は元全日本のバレーボール選手を講師に招いて、小学生、高校・一般を対象に教室が開催されています。

翌１５日には、中標津町の総合文化会館で根室管内リコーダーコンテストが開催され、予選を勝ち抜いた小・中・高等学校のチームは、年明けの全道大会に出場します。一般の部では別海中央小学校の教員チーム、「センセイーズ」が重奏・合奏ともに金賞を受賞しています。

同日午前１０時から、野付ネイチャーセンターにて、ラムサール条約登録湿地１０周年記念イベントが開催され、野付小学校児童が「野付学」の発表を行っております。

翌１６日午後１時３０分から、定例教頭会議が開催されております。今回の情報交流会では秋田県横手市の小学校４校を視察した６名の教員を代表し、別海中央小の根本教頭から視察報告がありました。本町の今後の教育活動推進につながる内容のものでした。

１７日から１９日の３日間、学校人事に係る校長・教頭を対象とした教育長面談が実施されています。

２０日午後１時から、中春別小学校において、秋田県横手市を先進地視察した教員による公開授業を開催しています。小学校５年生を対象とした授業ですが、子どもたちが自ら主体的に学ぶことを主眼に置いた授業が展開されました。今後は、この学びの定着を図り、町内全ての学校において授業改善が進み、別海型の教育構築に繋がることを期待をしています。

２１日午前９時３０分から、第６２回別海町少年弁論大会が開催され、各校より選抜された１８名がそれぞれ立派な発表を行っております。

同日午後１時から、上西春別小学校において北海道教育大学付属釧路中学校教師による公開模擬授業、同副校長による講演及び公開研究会が開催され、土曜日にも係らず多くの教職員が参加し研鑽を深めています。

２４日午前９時３０分から、教育委員会定例監査の結果報告を町監査委員より受けています。

同日午前１１時から、平成２７年度別海町文化・スポーツ功労者表彰式が役場会議室にて開催されています。文化功労賞個人１名、文化奨励賞１団体、優秀選手賞に１団体、５個人が表彰されました。

また、同日午後１時３０分から、西春別小学校において、生き抜く力アッププロジェクト事業で秋田県横手市を視察した教員による公開授業が開催

されました。5・6年生による複式授業でしたが、子どもたちが自ら授業を組み立て、積極的に課題を解き、その考え方を皆で発表しあいながら結論を導き出す姿は、大変実のある授業でした。

翌25日午前9時から、旧奥行臼駅通所整備検討委員会、保存専門部会が文化庁の佐藤調査官を迎えて開催されています。

同日午前11時から、給食センター運営委員会が開催され、悪天候等による臨時休校時の給食費の取扱について、保護者の負担軽減を図るため徴収しないことの協議をしています。

同日午後1時から、野付小学校にて、生き抜く力アッププロジェクト事業で先進地視察した教員による公開授業が実施されています。

翌26日午後3時から、根室管内公立学校教職員人事推進会議が中標津町で開催され教育長が出席しています。

翌27日午後2時から、中春別小学校で生き抜く力アッププロジェクト事業で先進地視察した教員による公開授業が実施され、教育委員長、教育長等が出席しています。

30日午前11時から、中春別中学校の公開研究会が開催され、全学年を対象としたアイヌ文化の学習が外部講師を招いて行われ、歴史の紹介や伝統の踊り・音楽等が披露され、子ども達もむっくりという音楽器の製作や踊り・演奏等に取り組んでいました。

12月1日午前11時から、別海小学校にて教育局指導主事の2次訪問による公開研究会が開催されています。

同日午後1時30分から、別海中央中学校体育館にて、フードライターの小西由稀さんを招いて「心に響く道徳」というテーマで講演会が開催されています。

翌2日午後1時から、別海中学校にて閉校記念碑の除幕式が開催され、教育委員長・教育長・教委幹部職員が出席しています。

同日午後4時から、北海道日本ハムファイターズが副町長・教育長を表敬訪問しています。

翌3日午前9時から、根室教育局長等による教育長・校長・教頭の人事面接が実施されています。

同日午前10時から、議会全員協議会が議場にて開催されています。

同日午前9時40分から、第27回子どもの成長を見る会が開催され、教育委員長、教委幹部職員が出席しています。

翌4日午後3時から、定例校長会が開催されています。

翌5日午前9時45分から、釧根地区ラジオ体操・みんなの体操指導者講習会が中央公民館で開催され、町長・教育長が出席しています。

同日午後1時30分から、別海中央小学校にて第25回根室管内小学生スクールバンドフェスティバルが開催されております。

翌6日午前9時から、根室管内学力向上フォーラムが筑波大学教授の藤田晃之氏を講師に迎え、中標津町の寿宴を会場に開催されております

同日午前10時30分から、旧柏野尋常小学校奉安殿の修理竣工記念報告会が開催され、地域の皆さんも多数参加して、戦前に奉安殿が設置された経緯や地域活動等の様子が報告され、地域の歴史に触れる貴重な報告会となりました。

翌7日午後6時から、自衛隊協力会主催行事が西春別のパークホテルで開催され、教育長が出席しております。

8日から11日までの4日間、第4回議会定例会が開催されています。一般質問では、中村議員より「(仮称)生涯学習センター建設基本構想」をどのように具体化するのかという質問があり、現在構想策定中の「矢臼別演習場周辺町づくり事業」で当該施設の建設を予定し、基本計画・実施計画の中で利用者が求める基本的な考え方として活用されると答えております。

また、外山議員からは3点の質問があり、まず、全国学力・学習状況調査の結果についての質問には、学力の部分では、小学生は3教科5項目中、4項目が全国平均と同程度、他の1項目が全道平均よりやや低く、中学生は1項目が全国と同程度、4項目が全道よりやや低い。また、家庭での学習状況については、本町では、普段1時間以上勉強する割合が、小学生・中学生とも全道平均を上回っていると答えています。次に、別海高校の間口増への取組について、昨年6月の道教委の公表から、教育委員会はどうのような対策をとってきたかとの質問に対し、新たな支援策として、本年度より通学費の全額助成、大学進学を希望する生徒に予備校が実施するeラーニング講習への補助や、全道大会への部活動遠征費補助を実施していること、中学生や高校生、さらには保護者からのニーズが高い寄宿舎等の設置に向けて、現在、庁舎内関係部署による検討会議を設置し、民間力活用を含めた検討を行っている」と答えています。次に、現時点での別海高校普通科への進学希望状況についての質問があり、9月末現在の聞き取り状況では、町内の中学3年生145名のうち81名、町外からは12名の希望情報があり、合わせると93名の生徒が普通科への進学希望があると答えています。3点目は、コミュニティスクールの導入目的と今後の計画についての質問があり、制度導入の目的は、学校・家庭・地域が一体となって、よりよい教育の実現を図る有効な手段と捉え、導入に向けた検討を進めていること。具体的には、来年度から一つの中学校区で制度導入に向けた試行を予定していること。試行の中で、様々な検証をしながら、町内のコミュニティスクールの導入について、地域、

真籠教育長

学校と協議を進めると答えております。なお、今回議会に提出された各案件については、全て承認されております。

9日午後7時から、平成27年度家庭教育学級セミナーが中央公民館で開催されました。講師には9月にも講演していただいた、東京おもちゃ美術館の多田千尋館長を再度迎えてのセミナーとなり、介護や子育て支援、福祉関係等の方々を中心に多くの参加者がありました、子どもと高齢者等の多世代間交流や子育て支援、木育、家庭・地域交流など幅広い実践事例の紹介には、大いに学ぶ事が多かったと思います。

11日午後3時から、定例の教頭会が開催されました。今回の情報交流会では、特別支援等の児童・生徒に係る「授業における合理的配慮」について、別海町出身の戸田竜也北海道教育大学講師の研究資料を基に実施されました。

15日午後1時から、テレワーク事業を進めているマイクロソフト社による、教育長インタビューが行われております。主な質問内容は、別海町の魅力や本町の教育環境について、テレワーク事業やICT教育・遠隔教育に期待されることなどでした。

同日午後4時から、別海高校生が、農業クラブ全国大会入賞、美術部全国大会出場、高校生のカナダ研修、専攻科学生のニュージーランド研修結果等について報告に訪れております。副町長・教育長が対応しております。

以上雑駁であります、報告とさせていただきます。

－【その他】－

大塚委員長

ありがとうございました。それでは、日程第4、議事に入ります。

本日の議題は、選挙1件となっておりますので、先に日程第5、その他に入りたいと思います。

事務局から何かございますか。

教育部次長

はい。

大塚委員長

教育部次長、お願いします。

教育部次長

来年1月7日に行われます成人式について報告したいと思います。

既にご案内を行っているところですが、来年1月7日木曜日午後1時30分から中央公民館で開催を予定しております。

対象者ですが、平成7年4月2日から平成8年4月1日の間に生まれた方となります。

人数ですが、住民票上では115名となります。昨年が127名ということですので12名の減となっております。

また、他市町村に異動されている方で、本町での参加を希望されている方については、電話での希望者となりますが、12月現在で30名の申し出が

教育部次長

あります。

昨年在45名でしたので15名の減となります。

既に出席予定者に対して、案内状を発送しておりますが、電話での希望者と合わせて、145名に対し案内状を発送しております。

なお、まだ時間がありますので電話での申し出があった場合には、すぐ発送しますので、最終的にはもう少し増えると思っております。

昨年の成人式の出席者が121名でしたので、若干減ると予想しております。

以上です。

大塚委員長

はい。その他に何かございますか。

（「なし」の声あり）

大塚委員長

無いようですので、続いて選挙に入ります。これにつきましては、関係する職員以外は退席をお願いします。

－【選挙第1号】－

大塚委員長

それでは選挙に入ります。

－（非公開）－

選挙結果 教育委員長 大塚保男（再任）

任期 自平成27年12月20日

至平成28年12月19日

大塚委員長

これをもちまして第13回教育委員会議を閉会いたします。皆さんどうもご苦労様でした。

－【閉 会】－